

平成21年度 第2回
第3期徳山地区地域審議会
会 議 録

日 時：平成21年9月7日（月）

場 所：周南市市民館 大会議室2

【会 議 次 第】

- 1 開会
- 2 市民憲章唱和
- 3 あいさつ
- 4 議事
(1) 「徳山地区地域審議会からの提言」について

(2) その他
- 5 閉会

平成21年度第2回 第3期徳山地区地域審議会 会議録

日 時 平成21年9月7日(月) 午後10時30分から

場 所 周南市市民館 大会議室1

出席者 ・委員 12名 (欠席3名)

藤井 徳男、松村 千昭、重永 つゆ子、山田 好美、木船 淳雄、
福原 和子、中村 俊孝、國富 晃、松原 邦夫、大寺 和美、清木 寛、
野村 静男

・事務局 4名

中村企画課長、原田課長補佐、亀割係長、福田主査

資 料 徳山地区地域審議会からの提言(案)

会 議 議 事 録

1 開 会

2 市民憲章唱和

(全員で市民憲章を唱和)

3 あいさつ(企画課長)

中村企画課長 企画総務部長がご挨拶申し上げますところですが、急遽別の公務が入りましたので、代わりにご挨拶申し上げます。

第1回審議会における「まちづくり総合計画後期基本計画」の素案に対するご意見は、まちづくり総合計画審議会の方へ報告いたしました。審議会では、現在、各分野別の部会を終え、9月中には答申を行う予定にしています。

本日は、第3期最後の地域審議会となりますが、まちづくり総合計画後期基本計画、新市建設計画進捗状況に関するご提言など、重要な局面で周南市のまちづくりのためにお力添えをいただきありがとうございました。

本日審議予定の徳山地区地域審議会からの提言についても、今後市政を運営していく上で、生かしてまいりたいと考えていますので、どうぞよろしく願いいたします。

4 議 事

(1)「徳山地区地域審議会からの提言」について

議長 (1)徳山地区地域審議会からの提言(案)について事務局より作成の経過について説明をお願いします。

事務局 《徳山地区地域審議会からの提言(案)について事務局より経過を説明》

議長 各部長より提言内容について補足説明をお願いします。

委員 《徳山地区地域審議会からの提言（案）について子育て部会より補足説明》

議長 ただいまの説明に関して、ご意見をお願いします。

委員 児童クラブの充実についてということで、私は、県のセミナーパークで4年ぐらい前からいろんな研修を受けて、阿知須の井関小学校で実施されている夏休み元気塾に講師や指導員として携わっています。周南市でも2年間、夏休みに児童クラブの指導員をさせていただきましたが、夏休みは子どもにとって成長が著しい時期であるにも関わらず、本当に部屋の中にただっこんでいるというような状況となっています。井関小学校のような成功例を生かしながら、そのノウハウを取り入れて子どもたちの夏休みの過ごし方を考えてもらえたらと思います。

委員 子どもたちについてのいろんな支援は大事なことだと思いますが、私たちが大事と思っていることと子育てをしているお母さんたちが思っていることでは、意見が食い違っているのではないかと思います。地域の人に一生懸命支援しようという気持ちがあっても通じないような方が多いのではないかと思います。地域の人を一生懸命支援しようという気持ちがあっても通じないような方が多いのではないかと思います。地域の人を一生懸命支援しようという気持ちがあっても通じないような方が多いのではないかと思います。

議長 提言としてあれもこれもというのは難しいので、これだけは伝えていきたいというものを絞ってまとめています。

一つは、幼稚園教育の問題について、私立幼稚園との調整が可能なところからでも、モデルケースとして幼稚園における3年保育の実施をお願いしたい。

それから、子育て交流センターについて、センターによって運営者の意識にだいぶ差があるのではないかとということで、何をもちて子育て支援をするのかということに関わる人が明解に持てるように考慮していただきたい。

それと児童クラブについて、人数の問題ではなく校区ごとに児童クラブを設置していただきたい。

最後に、支援サービスのピーアールの件ですが、情報が必要なところにはもう十分に伝わっているが、必要であるべきところに届いていないということが、どの制度も一番ネックになっていることから、今一番重要なのは、サービスが届いてない人たちをどのようにケアをするかではないかといった内容でまとめています。

次に中心市街地活性化部会の方から補足説明をお願いします。

委員 《徳山地区地域審議会からの提言（案）について中心市街地活性化部会より補足説明》

議長 ただいまの説明に関して、ご意見をお願いします。

委員 私は、商店街の皆様に危機感がないのをどうしていくかということが大きな問題だと思います。それから、やはりもうあと時間がないので、市の方でリーダーシップをしっかりとって、早く槌音をたてていただきたいと思っています。

委員 中心市街地の活性化については、何年も前から皆さんが検討されてきたものですが、大きく一歩前進したというものが未だに見受けられません。本当に時間がもうな

いと思うので、直ちに実行に移すということを誰か決めてほしいと思います。

委員 我々が提言している施策を遂行するためには、これを推進していく推進母体をどうするかということが課題だと思います。その組織化がうまくできれば、1億か2億のお金でこれらのものは十分企画して実行していけるし、その方が市街地の活性化においてはハードよりも効果が早く、またハードができたときには、その効果が100パーセント発揮できます。人を選んで組織を作って動かせば明日からでも動くことだと思いますので、一般論はやめにして、具体論として実行に移していただきたいと思います。

議長 私は、駅のデザイン会議に出っていますが、こういうふうに提言する内容が、ほとんどデザイン会議では反映できていないのが現状です。各部会等で提言されているものは、すり合わせをされているのでしょうか。どうかこの提言を、それぞれ関わる部会にも伝えてほしいと思います。デザイン会議では、商店街がどうするのか、この路線をどうするのか、駅ビルをどうするのかといったことがつながらないままにただ広場とかいったものだけ考えているので、120億円もかけてするほどの事業なのかと思わざるを得ないということになります。

委員 私はハードとソフトの2つをセットで推進してほしいと思います。この提言をたたき台にして、よりよい案にしてハードとソフトを整備していただけたらと思います。

委員 のんた祭りとか、冬のツリーまつりは、非常に多くの市民でにぎわいます。やはり市民がわくわくするとかときめくような催しものをすれば、必ず人が集まる訳です。お金ももちろん必要なときには投資しないといけません。知恵を出していけば、必ず周南市としての特徴が出せるのではないかと思います。例えば、全国でにぎわっている場所に見学に行って、どういう形でにぎわせているかということも参考にするといいのではないかと思います。

委員 シニア層と子どもとの連携のまちづくりというのがありますが、これはおそらく他所にもない新しい考え方ではないかと思います。シニアに限らず全体のまちの活性化というのが、どういうところで得られるのかというのが、もう一遍考えていただきたいと思います。

委員 児童クラブの充実ですが、児童クラブとは別に放課後子ども教室というのがあります。放課後子ども教室では、月・水・金の授業が済んでから5時くらいまで預かり、まちの先生という形で地域の人が当番で宿題や遊びをみたりしています。児童クラブだけではなく、こういった放課後子ども教室の状況についても考えられたらいいのではないかと思います。

それから中心市街地活性化で観光について出ていましたが、この間、第6回目の周南市元気子ども会議があり、その中で、久米小学校の子どもたちが、動物園のことについて、新しい動物を増やしてほしいとか、動物が目の高さで見えるようにしたいといった意見を述べていました。それから、岐山小学校の子どもたちからは、まどみちおさんのことについて取り組んでいるということで、まどみちおさんマップとか、詩碑を作った

らどうかという意見が出ていましたので、そういうことも考えられたらいかがかと思
います。

委員 私は、一人の人が関係するすべての会議に出席し、全部を集約して、その人が
リーダーシップをとってやっていかなければ、点が線につながって面につながるという
ことは絶対にありえないと思います。役所の中で、熱い思いをもった人が、それなりの
権限を持ち、それなりの使命感でやっていかなければ、せっかくここで出た意見も何も
バラバラのままです。行政においても、人のシステム化といったものが必要な時代にな
ってきているのではないかと思います。先ほど言われた放課後子ども教室や児童クラブ
等についてもバラバラで、地域の人ができるのはすべてボランティアですが、ただじっ
と見守っている児童クラブの先生たちは910円もらっているという格差が生じてい
ます。こういう現実を一つひとつ見ながら、本当にどういうふうな人を作っていくのか
考えていく必要があると思います。何をしても教育的な考え方がなければ、まちづくり
は成功しません。まちづくりはひとづくりと言いますが、人をつくるためにどうしてい
くかということをもっと考えていかなければいけないと思います。

委員 デザイン会議、それから我々の審議会でも、何か目に見えてこないような気が
します。市議会もこういうことは問題にあげていると思いますので、例えば、この三者
で、一堂に会して話をしてみたら、また見えてくるのではないかと思います。

委員 この提言について多少メリハリがほしいという気がしましたが、こんなところ
でいいのではないかと思います。

議長 どうもありがとうございました。この子育て支援と中心市街地活性化について、
2つの提言を市の方に提出したいと思います。ただ、実施に関わっていただくのは行政
の方々ですので、やはり情念を持っていただきたいと思います。私どもも、それぞれが
自分の関われる範囲で、自分たちが思っていることを少しでも実現できるように一步を
踏み出す以外手立てはないのではないかと思います。

(2) その他について

議長 第3期の地域審議会委員の任期が9月末で終わりとなりますので、2年間、あ
るいは前期からの方は4年間について、また次の2年間に向かってのご意見をお願いし
ます。

委員 平成19年10月1日から審議会委員として初めてこの審議会に参加させてい
ただき、私にとっては、非常にいい勉強をさせていただいたと思って感謝をしています。

行政、市民、すべてを含めて横のつながりをもっと重要視して、個々にはいろんな
意見ができるけど、それが重点的にどのように取り上げられて、どのように施行される
かということが明確になっていない部分もありますので、そういう面について、是非お
考えいただければと思います。

地域活性化については、行政、商店街の代表者、市民、専門的にそういう分野に詳し

い人によるプロジェクトを結成して、その中で繁栄している他市等を大いに参考にし、活性化につなげていくということも重要ではないかと考えますので、そういう面も含めて今後の課題としてご検討いただけたらと思います。

委員 私は、不動産業をやっていますので、千に3つということで、具体化されなくても慣れていきます。有楽町の件もしかり、中央街の件もそうです。私は10年前に国と県と市の補助で糞町に民間のマンションを作りましたが、県の方から予算がないということで市街地再開発は1件で終わりました。駅ビルも、果たして投下資本が戻るかと思っていますが、何もしないよりはいいので、一つぐらい駅のことだけはやってくださいと、そのように思います。

委員 いつまでも情熱を持って、声大きく行動していくおばさんでありつづけたいと思っています。

委員 2年間、地域審議会に関わらせてもらいましたが、地域の実情についていろいろな意見が出て有意義なものがあったと思います。私は、今、老人クラブの運営について非常に頭を悩ませています。老人クラブの活性化についても非常に大きな提言をいただいたような感じがしていますので、これからも大いにがんばっていきたいと思います。

委員 これで、私はこの会を終わりますが、自分の立場で協力できることは、これからもどんどんやっていきたいと思っています。

それから、子育て支援については、いろんな支援を考えていただくときに、子どもの成長とともに親も成長できる支援をお願いします。この前から、犯罪を犯した子どもと関わることもあり感じたことですが、親がきちんと親をしてないと、やはり子どもは不幸です。それがすべての原因だとは言いませんが、親が親として成長できる子育て支援の施策を、行政の方には是非お願いしたいと思います。

委員 何のお手伝いもできませんでしたが、4年間大変お世話になりました。あとを引き継がれる皆さん方に、どうかいい審議会でありますように祈念いたします。

委員 私は民生委員として、駅ビルの中にお風呂を作ってほしいということをいつも提言しています。今までいただけていた無料で入れるお風呂の券というものが全くいだけなくなったので、自分の家のお風呂に入れたい方は行くところがありません。また銭湯に行くには交通費もかかるし、銭湯自体も少なくなっていますので、是非それを実現してほしいと思います。

それから、すべてのことをまとめてやらなくても、できることを一つずつやっていたらいいのではないかと思います。いい資源がここにはあるので、まず第一に観光をやってみようとか、できることからされたらどうでしょうか。まどみちおさんのことも、駅に列車が着くときに、まどみちおさんの「ぞうさん」を流すなどしてはどうかと思います。

委員 皆さんが一生懸命周南をよくするためにこういうことをなさっているというこ

とを初めて知り、本当に勉強させていただいてよかったと思います。いろんな部会で、いろんな提案をまとめられています。これをどのように、どこの部がまとめて具体化していかれるのかといったことも今後勉強させていただきながら、周南をよくするためにみんなでがんばっていきたいと思います。

それから、まどみちおさんのことも、今年生誕100年ですが、そういう話がいろんなところで出ているならば、何か一つずつでいいから、できるところからやっていかないといけないと思います。やはり市役所の方が実行力を持って行動していかねば、いくらここでいい話をして会社は倒産してしまうんです。私は、こういう場に一度市長さんに来てみていただけたらいいのではないかと思います。これだけ一生懸命みなさんやっていただいていますので、皆さんの声が届くようによろしくをお願いします。

委員 まちづくりは、子どもから大人まで全部で考えていかないといけないことだと思いますが、子どもたちがあんなにまちづくりについて考えていることを非常に嬉しく思いました。これから駅前の活性化等いろいろあると思いますが、私もコミュニティの世話をしていますので、できれば応援していきたいと思います。

委員 この提言が、先ほどから言われるようにただ言っぱなしで終わらないように、これが一番だと思います。これからも企画の方ではがんばっていただきたいと思います。

委員 こういうところでいろいろ議論するということは今までなかったので、そういった意味で私自身にとって大変勉強になりました。

それから、今後に向けての要望ということになりますが、いくら提言してもそれが結局が立ち消えになって実行に移されないということでは意味がないので、是非実行に移していただきたいと思います。

今は、どの市もそうですが、財政的に非常に厳しい状況下にある訳ですから、ハードをどうやって安く整備するかということではなく、むしろソフトをいかに充実するか、お金をかけないでハードを整備する以上の効果をだすということに精力を注ぐべきではないかと思います。少なくともまちを活性化するという部分はソフトで十分できる場所だと思いますので、発想の転換を図っていただけたらと思います。

議長 この提言が言っぱなしにならないように、そのすり合わせをする場がどこかであってほしいと思います。

それと、私のところは過疎地域ですが、人がいないというのは大変な状況です。それと、高齢者が多くなってきているところをどのようにサポートしてもらえるかと思っています。

私のところはお寺ですので、関わった組織も少なく十分なことはできませんが、やはりそこが輝いたら人が集まります。そして、知恵もいただく、人も動く、物も動いてきます。市においても、どこかの課が輝いていればいい人材が集まってくるのではないかと思います。やはり実現するかしないかと思うよりも、実現したらこんなに素晴らしい周南市になるんだという夢を描いていただきたいと思います。

提言について承認をいただいておりますので、この提言でよろしければ拍手をお願いします。

(拍 手)

議長 ありがとうございます。私どもは徳山地区審議会ですが、みなさんの意識は周南市全体を捉えてこの会が運営されてきたように思います。徳山地区だけでなく周南市の全体像の中でこの地区の提言をしていると思っていますので、どうかよろしく願います。

最後に、この会でみんないろいろとつながりが得られたと思います。どうかこの縁を大切に、少しでもよりよきまちづくりに関わっていただければと思います。情念を持ってそれぞれが個々に活躍していただければ、この縁をいただいた2年間に有意義になるのではないかなと思います。長時間どうもありがとうございました。

事務局 《事務局から今後の予定について説明》

5 閉 会